

# 国際平和推進事業

## 1 国際平和シンポジウムの開催

平成 7 年度（1995 年度）から、核兵器廃絶をテーマに市民の平和意識の啓発を図ることを目的として、広島市、本財団及び朝日新聞社の共催により国際平和シンポジウムを開催しています。平成 18 年度（2006 年度）からは広島・長崎の交互開催とし、令和 6 年度は長崎市で開催しました。

期 日 令和 6 年 7 月 27 日（土）

会 場 長崎原爆資料館ホール

テーマ 核兵器廃絶への道 ～核の脅威、多様性でのりこえる～

内 容 ①基調講演

イヴァナ・ヒューズ（米国の非核 NGO「核時代平和財団」代表）

②パネル討論

【パネリスト】

イヴァナ・ヒューズ（同上）

クルマンセイト・バトルハン（駐日カザフスタン大使館の公使参事官）

くろさわ みつる  
黒澤 満（大阪大学・大阪女学院大学名誉教授）

たなか てるみ  
田中 熙巳（日本原水爆被害者団体協議会の代表委員。長崎で被爆。）

みまき せいこ  
三牧 聖子（同志社大学大学院 准教授）

③特別トーク

キョウ ショウチュウ  
姜 尚 中（学校法人鎮西学院学院長、同大学学長）

みたむら しずこ  
三田村 静子（長崎で被爆、手作りの原爆紙芝居で被爆体験を伝承）

かみやま さり  
加美山 紗里（ジェンダーから核問題を考える「GeNuine」共同設立者。祖父が長崎で被爆。）

はやしだ みつひろ  
林田 光弘（「Peace Education Lab Nagasaki」代表理事。祖父が長崎で被爆。）

参加者 約 980 人

## 2 国連軍縮フェローズの受入れ

国連が軍縮専門家の育成を目的に主催する「国連軍縮フェローシッププログラム」を支援するため、各国外交官等の研修生（フェローズ）を受け入れ、被爆の実相等に理解を深めてもらう研修を実施しています。

本財団では、昭和 58 年度（1983 年度）から受入れを実施しており、令和 6 年度は、25 か国の若手外交官等 25 人が参加しました。今回の研修では、当財団副理事長による講話や被爆体験講話の聴講、平和記念資料館及び平和記念公園の見学、被爆の実相を視覚的に実感するための VR ツアー等を行いました。



プログラム参加者、被爆者及び本財団関係者

### 3 中国人民平和軍縮協会との交流

昭和 63 年度（1988 年度）に中国人民平和軍縮協会（平縮会）と交流を始めて以来、相互に訪問し、交流を続けています。平縮会は、昭和 60 年（1985 年）6 月に設立された中国最大の民間平和団体で、平成 14 年（2002 年）には国連 NGO に登録されています。

令和 6 年度は、訪中団を派遣し、被爆の実相とともに、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を願う「ヒロシマの心」を伝える予定でしたが、同協会からの申出により中止となりました。

### 4 海外へのオンライン被爆体験証言

海外の人々に被爆の実相を伝え、核兵器廃絶に向けた国際世論を醸成するため、ウェブ会議システムを利用した被爆体験証言を行っています。令和 6 年度は、6 か国 11 都市とライブで繋が<sup>つな</sup>り、13 回の被爆体験証言を行いました。

### 5 国外原爆写真展用資料の提供

被爆の実相を伝え、平和意識の高揚を図るため、原爆展の開催や平和学習の実施に取り組む世界各地の自治体、NGO、学校、個人等に対し、ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスターや映像資料等の貸出・提供を行っています。

#### 〔お申込み〕

平和首長会議・国際政策課まで

電話（082）242 - 7821

#### 令和 6 年度の貸出・提供実績

ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター

（単位：点、か国・地域）

| 区 分   | 点 数 | 国・地域数 |
|-------|-----|-------|
| 日本語   | 5   | 5     |
| 英語    | 47  | 19    |
| スペイン語 | 0   | 0     |
| フランス語 | 2   | 2     |
| ドイツ語  | 3   | 2     |
| ロシア語  | 0   | 0     |
| イタリア語 | 1   | 1     |
| ハングル  | 0   | 0     |
| 中国語   | 0   | 0     |
| 計     | 58  | 29    |

映像資料等

（単位：点、か国・地域）

| 貸出・提供資料   | 点 数 | 国・地域数 |
|-----------|-----|-------|
| 映像資料（DVD） | 82  | 14    |
| ポスター用データ等 | 27  | 11    |
| 計         | 109 | 25    |

## 6 ヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展の開催

被爆の実相を伝え、核兵器廃絶に向けた国際世論を醸成するため、広島市と長崎市は共同で、海外において「ヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展」を開催しています。

令和6年度は、アルゼンチンのブエノスアイレス市及びスロベニアのマリボル市において開催しました。

動員学徒として作業中に被爆し、犠牲となった中学生の腕章などの遺品や、黒焦げになった弁当箱のレプリカなど、実物資料20点のほか、広島・長崎の被爆の実相を説明したパネル30点などを展示しました。

ブエノスアイレス市での原爆・平和展開催期間中には、本財団委嘱の被爆体験証言者である八幡照子<sup>やはたてるこ</sup>さんが、マリボル市での開催期間中には、笠岡貞江<sup>かさおかさだえ</sup>さんが自身の被爆体験を語られました。



原爆・平和展の様子(ブエノスアイレス市)

### ● ブエノスアイレス市

期 間 令和6年10月2日(水)～11月3日(日)

会 場 リベルタ宮殿

内 容 被爆の実相を伝える写真パネル・被爆資料等の展示、被爆体験講話、被爆者証言ビデオや映画の上映、折り鶴のワークショップ 等

入場者 7,438人

### ● マリボル市

期 間 令和6年12月3日(火)～令和7年2月28日(金)

会 場 マリボル民族解放博物館

内 容 被爆の実相を伝える写真パネル・被爆資料等の展示、被爆体験講話、被爆者証言ビデオや映画の上映、折り鶴のワークショップ 等

入場者 約5,340人

## 7 「広島・長崎講座」設置協力プログラム

被爆の実相や被爆者の核兵器廃絶への願いを若い世代に継承するため、国内外の大学・大学院の講座で、広島及び長崎における被爆体験の持つ意味を学術的に考察・検証し、伝えるものを「広島・長崎講座」として認定するとともに、その普及を図っています。同講座に認定した大学に対しては、認定時における教材の提供や被爆体験証言者への謝礼金の負担など、講座の充実にに向けた協力を行っています。令和7年3月末までに次のとおり国内54、海外25の計79大学が「広島・長崎講座」を開設しています。

(国内) 東北芸術工科大学、中央学院大学、東京大学、東京外国語大学<sup>けいせん</sup>、恵泉女学園大学、国際基督教大学<sup>きりすとしやう</sup>、成蹊大学<sup>せいけい</sup>、創価大学<sup>だいとう</sup>、大東文化大学、東京経済大学、東京電機大学、明治学院大学<sup>わこう</sup>、和光大学、早稲田大学、新潟大学<sup>けいわ</sup>、敬和学園大学、富山大学、金沢大学、中部大学、名古屋学院大学、三重大学、京都外国語大学・京都外国語短期大学<sup>せい</sup>、京都精華大学<sup>せいか</sup>、京都芸術大学<sup>ぶつきやう</sup>、佛教大学<sup>りつめいかん</sup>、立命館大学<sup>りゅうこく</sup>、龍谷大学、大阪

大学、<sup>かんせい</sup>関西学院大学、奈良県立大学、<sup>てづかやま</sup>帝塚山大学、広島大学、広島市立大学、福山市立大学、エリザベト音楽大学、日本赤十字広島看護大学、<sup>ひじやま</sup>比治山大学、広島経済大学、広島国際大学、広島修道大学、広島女学院大学、広島都市学園大学、広島文化学園大学、広島文教大学、愛媛大学、九州大学、北九州市立大学、長崎大学、長崎県立大学、<sup>ちんぜい</sup>鎮西学院大学、長崎総合科学大学、熊本大学、大分県立芸術文化短期大学、鹿児島大学

(海外) ラスパンティ教育大学 (アルゼンチン)、BHT ベルリン応用科学大学 (ドイツ)、マレーシア科学大学、マラヤ大学 (マレーシア)、<sup>キョンブク</sup>慶北国立大学校人文大学 (韓国)、国立台中科技大学 (台湾)、ウクライナ国立キーウ工科大学 (ウクライナ)、アメリカン大学、ボーリング・グリーン州立大学、カリフォルニア州立大学サクラメント校、カールトン大学、セントラルコネティカット州立大学、フィラデルフィア・コミュニティ・カレッジ、デュポール大学、イリノイ・ウェズリアン大学、インディアナ大学・パデュー大学インディアナポリス校、マサチューセッツ工科大学、ミネソタ州立大学ムーアヘッド校、マウントユニオン大学、ニュージャージー州立ラトガース大学、タフツ大学、アラバマ大学、シカゴ大学、ハワイ大学マノア校、インディアナポリス大学 (以上アメリカ)

## 8 ヒロシマ平和研究教育機構の運営【新規】

大学相互間や大学と地方自治体又は平和に関する関係団体等との間において平和教育・研究等に関する大学等連携推進業務を行い、核兵器のない平和な世界への思いを世界中の市民社会の世論に根付かせ、平和への大きな潮流を作ることを目的として、広島市、広島大学、広島市立大学及び本財団の4者により、令和6年1月15日に、一般社団法人ヒロシマ平和研究教育機構を設立しました。

令和6年度は、以下のとおりキックオフシンポジウムを開催しました。

日 時：令和6年7月14日 (日)

場 所：広島平和記念資料館メモリアルホール

参加者：約180名

## 9 核兵器禁止条約推進国との連携【新規】

令和6年10月、核兵器禁止条約推進国であるアイルランド・ダブリン市を<sup>まつい</sup>松井会長が訪問し、アイルランド議会上院でのスピーチや大統領、大臣、上下院議長等との面会等を行い、核兵器のない平和な世界を願うヒロシマの心を伝え、平和首長会議の取組に対する理解と協力を呼び掛けました。

## 10 国連ユース非核リーダー基金プログラムへの協力【新規】

令和6年8月28日と29日の2日間、日本政府の拠出により国連が設立した国連ユース

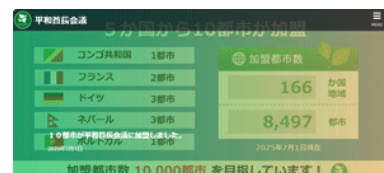
非核リーダー基金のプログラム参加者 49 人を受け入れ、被爆の実相を伝えるとともに、若者と交流するプログラムを実施しました。

## 1 1 平和首長会議の運営

平和首長会議は、世界の都市が国境を越えて連帯し、共に核兵器廃絶と世界恒久平和への道を切り開こうという広島・長崎両市の呼び掛けに賛同する都市（自治体）で構成する国連経済社会理事会登録 NGO です。

令和 6 年度は 107 都市が新たに加盟し、地域別では、アジア 12 都市、アフリカ 2 都市、ヨーロッパ 90 都市、北アメリカ 2 都市、ラテンアメリカ・カリブ海地域 1 都市でした（オセアニアからの加盟はなし）。

加盟都市の連帯の輪を更に広げるため、それぞれの加盟都市の平和の取組などを紹介する月刊メールマガジン“Mayors for Peace News Flash”の発行のほか、平和首長会議ホームページ（<https://www.mayorsforpeace.org/>）やソーシャルメディアによる発信活動の充実などに取り組んでいます。



平和首長会議ホームページ



## ○ 地域別平和首長会議加盟都市数

（令和 7 年 8 月 1 日現在）

| 地 域 名          | 加盟都市数              |
|----------------|--------------------|
| アジア            | 39 か国・地域 3,371 都市  |
| オセアニア          | 9 か国・地域 137 都市     |
| アフリカ           | 49 か国・地域 443 都市    |
| ヨーロッパ          | 41 か国・地域 3,469 都市  |
| 北アメリカ          | 3 か国・地域 346 都市     |
| ラテンアメリカ・カリブ海地域 | 25 か国・地域 743 都市    |
| 計              | 166 か国・地域 8,509 都市 |

## 1 2 平和首長会議の活動展開

平和首長会議では、「持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョン」（略称：PX ビジョン）の三つの目標の下で、併せて策定した 2025 年までの行動計画に掲げる取組を進め、平和を構築していくための世界的な活動展開を図っています。

### （１）第１１回ＮＰＴ再検討会議第２回準備委員会への出席

令和６年７月、スイス・ジュネーブ市で開催された第１１回ＮＰＴ（核兵器不拡散条約）再検討会議第２回準備委員会へ代表団を派遣し、国連・各国政府関係者等に対して、スピーチや個別の面会を通じて、核兵器のない平和な世界を願うヒロシマの心を伝え、具体的な核軍縮の進展を要請しました。また、会期中には平和首長会議原爆平和展及びこどもたちによる“平和なまち”絵画展を開催し、広島・長崎の被爆の実相や核兵器の非人道性、平和文化の振興に向けた平和首長会議の取組について理解を深めてもらう機会を設けました。



第１１回ＮＰＴ再検討会議第２回準備委員会での松井会長によるスピーチ

### （２）核兵器禁止条約第３回締約国会議への出席

令和７年３月、米国・ニューヨーク市で開催された核兵器禁止条約第３回締約国会議へ代表団を派遣し、国連・各国政府関係者等に、非人道的な結末をもたらす核兵器に対する強い懸念を訴えるとともに、締約国に対して、同条約の実効性を高めるための議論を進展させるよう要請し、具体的な核軍縮の進展を求めました。

また、平和首長会議及び ICAN（核兵器廃絶国際キャンペーン）の共同サイドイベントや、平和首長会議原爆平和展、こどもたちによる“平和なまち”絵画展、VR ゴーグル体験を開催し、核兵器のない平和な世界の実現に向けた気運を醸成しました。



核兵器禁止条約第３回締約国会議でのオナイ副会長によるスピーチ

### （３）第１２回平和首長会議国内加盟都市会議総会の開催

令和７年１月１６日と１７日の２日間、第１２回目となる国内加盟都市会議総会を東京都武蔵野市で開催し、全国から１００都市１７７人が出席しました。

同総会では、国内における平和首長会議の取組についての協議や意見交換、加盟都市の取組についての情報交換を行うとともに、核兵器廃絶に向けた日本政府に対する要請文の提出及び戦後８０周年を契機とした若い世代への平和学習の展開に関する申合せについて審議・決定し、最後に総括文書を採択して閉会しました。



議案の審議

### （４）「核兵器禁止条約」の早期締結を求める署名活動の展開

平和首長会議では、「核兵器禁止条約」の早期締結を求める署名活動に取り組んでいます。

集まった署名を取りまとめ、核軍縮に関する国際会議への出席等の機会を捉えて、国連関係者に届けることにしています。令和6年度は、第11回NPT再検討会議第2回準備委員会への出席時に、平和首長会議ユースから中満国連事務次長兼軍縮担当上級代表へ署名の目録を手渡しました。



中満国連事務次長(後列中央)とユース

## (5) 平和首長会議加盟都市への被爆樹木の種・二世の苗木の配布

平和首長会議では、希望する加盟都市に被爆に耐えて現在も生き続けるヒロシマ・ナガサキの被爆樹木の種や二世の苗木を配布しており、令和6年度は、国内の18都市、海外6か国の14都市に配布しました。

配布された被爆樹木の種や二世の苗木は、多くの市民が訪れる場所に植樹され、平和の象徴として大切に育てられるとともに、樹木を介して市民の平和意識を醸成するための取組に活用されています。

## (6) 次代を担う青少年を中心とした市民の平和意識の啓発

平和首長会議では、加盟都市における平和教育の充実を図ることを目的として、全加盟都市の6歳から15歳のこどもたちを対象とした「こどもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト」を実施しています。

7回目となる令和6年度のコンテストでは、世界21か国123都市で4,208作品の応募がありました。6歳から10歳と11歳から15歳の2部門でそれぞれ最優秀賞1点、優秀賞2点、入選3点を選定し、各部門の最優秀賞作品から、広島県広島市のおおちすい大地粋さん(13歳)の作品を平和首長会議会長賞に選定しました。

平和教育の重要性についての認識を広めるため、この作品をデザインにしたクリアファイルを作成し、様々な場面で活用しています。



平和首長会議会長賞受賞作品

## 13 平和首長会議インターンシップ

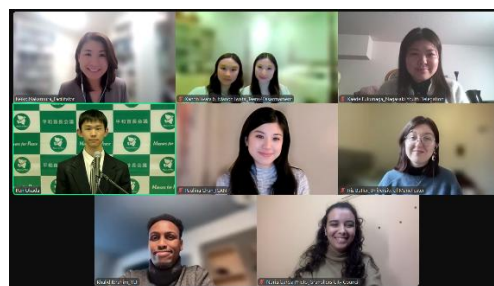
平和首長会議の国内外の加盟都市から若手職員等を広島に招へいし、各加盟都市との連携強化を図るとともに、インターンシップ終了後にそれぞれの都市において取組の推進を図りました。令和6年度は海外加盟都市から2名招へいしましたが、国内加盟都市については、当日の全国的な大雪による交通機関への影響等を考慮し、招へいを中止しました。また、国内加盟都市の職員を対象にオンライン研修を初めて開催し、41都道府県209自治体229人が参加しました。

## 14 平和教育ウェビナーの開催

平和首長会議の加盟都市等の青少年が、被爆・戦争体験と平和への願いを受け継いで行う取組を発表し、意見交換するオンラインセミナーを開催しました。

令和6年度のウェビナーでは、7都市・団体から8人の青少年が参加し、それぞれの平和活動や平和への思いについて発表するとともに、意見交換を行いました。

ウェビナーの様子は YouTube で同時配信するとともに、後日、配信した動画を平和首長会議ウェブサイトで公開し、多くの方々に視聴していただきました。



平和教育ウェビナー

## 15 NPT再検討会議等への高校生派遣事業

令和6年7月、スイス・ジュネーブ市で開催された第11回NPT再検討会議第2回準備委員会に、核兵器廃絶の実現に向けて様々な平和活動に取り組む広島の高校生8人を「平和首長会議ユース」として派遣し、準備委員会のサイドイベントとして開催する平和首長会議ユースフォーラムでの発表や意見交換、会議傍聴や国連関係者への署名の手交、地元の青少年との交流などを通じ、次代の平和活動を担う青少年の育成を図りました。



平和首長会議ユースフォーラム

## 16 第13回平和首長会議理事会の開催【新規】

令和6年10月28日と29日の2日間、英国・マンチェスター市で第13回平和首長会議理事会を開催し、役員都市9都市・1支部が出席しました。理事会では、平和首長会議のPXビジョン及び行動計画（2021年-2025年）に基づくこれまでの取組状況を総括するとともに、次期行動計画や令和7年に長崎市で開催予定の第11回平和首長会議総会の運営方針等について審議しました。



第13回平和首長会議理事会

## 17 第11回平和首長会議総会の準備【新規】

令和7年8月7日から10日に、長崎市で開催する第11回平和首長会議総会の円滑かつ効果的な運営に向け、各種準備を進めました。

◇ 核実験に対する広島市の抗議書簡・抗議電回数表（暦年別）

令和 6 年 5 月 18 日現在

| 区分<br>年 | 米 国 |     | ロシア |     | フランス |     | 中 国 |    | 英 国 |    | インド |    | パキスタン |    | 北朝鮮 |    | 計  |     |
|---------|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|----|-----|----|-----|----|-------|----|-----|----|----|-----|
|         | 回数  | 累計  | 回数  | 累計  | 回数   | 累計  | 回数  | 累計 | 回数  | 累計 | 回数  | 累計 | 回数    | 累計 | 回数  | 累計 | 回数 | 累計  |
| 1968    | 0   | 0   | 0   | 0   | 1    | 1   | 1   | 1  | 0   | 0  | 0   | 0  | 0     | 0  | 0   | 0  | 2  | 2   |
| 1969    | 1   | 1   | 0   | 0   | 0    | 1   | 0   | 1  | 0   | 0  | 0   | 0  | 0     | 0  | 0   | 0  | 1  | 3   |
| 1970    | 0   | 1   | 0   | 0   | 1    | 2   | 0   | 1  | 0   | 0  | 0   | 0  | 0     | 0  | 0   | 0  | 1  | 4   |
| 1971    | 1   | 2   | 0   | 0   | 3    | 5   | 2   | 3  | 0   | 0  | 0   | 0  | 0     | 0  | 0   | 0  | 6  | 10  |
| 1972    | 2   | 4   | 1   | 1   | 1    | 6   | 2   | 5  | 0   | 0  | 0   | 0  | 0     | 0  | 0   | 0  | 6  | 16  |
| 1973    | 0   | 4   | 1   | 2   | 7    | 13  | 1   | 6  | 0   | 0  | 0   | 0  | 0     | 0  | 0   | 0  | 9  | 25  |
| 1974    | 3   | 7   | 4   | 6   | 9    | 22  | 1   | 7  | 1   | 1  | 1   | 1  | 0     | 0  | 0   | 0  | 19 | 44  |
| 1975    | 13  | 20  | 5   | 11  | 2    | 24  | 1   | 8  | 0   | 1  | 0   | 1  | 0     | 0  | 0   | 0  | 21 | 65  |
| 1976    | 10  | 30  | 9   | 20  | 3    | 27  | 4   | 12 | 1   | 2  | 0   | 1  | 0     | 0  | 0   | 0  | 27 | 92  |
| 1977    | 11  | 41  | 9   | 29  | 2    | 29  | 1   | 13 | 0   | 2  | 0   | 1  | 0     | 0  | 0   | 0  | 23 | 115 |
| 1978    | 9   | 50  | 21  | 50  | 2    | 31  | 3   | 16 | 1   | 3  | 0   | 1  | 0     | 0  | 0   | 0  | 36 | 151 |
| 1979    | 12  | 62  | 23  | 73  | 1    | 32  | 0   | 16 | 1   | 4  | 0   | 1  | 0     | 0  | 0   | 0  | 37 | 188 |
| 1980    | 14  | 76  | 14  | 87  | 6    | 38  | 1   | 17 | 3   | 7  | 0   | 1  | 0     | 0  | 0   | 0  | 38 | 226 |
| 1981    | 9   | 85  | 8   | 95  | 3    | 41  | 0   | 17 | 0   | 7  | 0   | 1  | 0     | 0  | 0   | 0  | 20 | 246 |
| 1982    | 11  | 96  | 9   | 104 | 5    | 46  | 0   | 17 | 1   | 8  | 0   | 1  | 0     | 0  | 0   | 0  | 26 | 272 |
| 1983    | 12  | 108 | 12  | 116 | 7    | 53  | 1   | 18 | 1   | 9  | 0   | 1  | 0     | 0  | 0   | 0  | 33 | 305 |
| 1984    | 13  | 121 | 16  | 132 | 7    | 60  | 1   | 19 | 2   | 11 | 0   | 1  | 0     | 0  | 0   | 0  | 39 | 344 |
| 1985    | 14  | 135 | 6   | 138 | 8    | 68  | 0   | 19 | 1   | 12 | 0   | 1  | 0     | 0  | 0   | 0  | 29 | 373 |
| 1986    | 13  | 148 | 0   | 138 | 7    | 75  | 0   | 19 | 1   | 13 | 0   | 1  | 0     | 0  | 0   | 0  | 21 | 394 |
| 1987    | 14  | 162 | 20  | 158 | 8    | 83  | 1   | 20 | 1   | 14 | 0   | 1  | 0     | 0  | 0   | 0  | 44 | 438 |
| 1988    | 10  | 172 | 15  | 173 | 8    | 91  | 1   | 21 | 0   | 14 | 0   | 1  | 0     | 0  | 0   | 0  | 34 | 472 |
| 1989    | 11  | 183 | 7   | 180 | 8    | 99  | 0   | 21 | 1   | 15 | 0   | 1  | 0     | 0  | 0   | 0  | 27 | 499 |
| 1990    | 7   | 190 | 1   | 181 | 6    | 105 | 0   | 21 | 1   | 16 | 0   | 1  | 0     | 0  | 0   | 0  | 15 | 514 |
| 1991    | 6   | 196 | 0   | 181 | 6    | 111 | 0   | 21 | 1   | 17 | 0   | 1  | 0     | 0  | 0   | 0  | 13 | 527 |
| 1992    | 6   | 202 | 0   | 181 | 0    | 111 | 2   | 23 | 0   | 17 | 0   | 1  | 0     | 0  | 0   | 0  | 8  | 535 |
| 1993    | 0   | 202 | 0   | 181 | 0    | 111 | 1   | 24 | 0   | 17 | 0   | 1  | 0     | 0  | 0   | 0  | 1  | 536 |
| 1994    | 0   | 202 | 0   | 181 | 0    | 111 | 2   | 26 | 0   | 17 | 0   | 1  | 0     | 0  | 0   | 0  | 2  | 538 |
| 1995    | 0   | 202 | 0   | 181 | 6    | 117 | 2   | 28 | 0   | 17 | 0   | 1  | 0     | 0  | 0   | 0  | 8  | 546 |

|      |     |     |     |     |     |     |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |     |     |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|----|---|---|---|---|---|---|-----|-----|
| 1996 | 0   | 202 | 0   | 181 | 1   | 118 | 2  | 30 | 0  | 17 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3   | 549 |
| 1997 | 5   | 207 | 1   | 182 | 0   | 118 | 0  | 30 | 0  | 17 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6   | 555 |
| 1998 | 5   | 212 | 2   | 184 | 0   | 118 | 0  | 30 | 0  | 17 | 2 | 3 | 2 | 2 | 0 | 0 | 11  | 566 |
| 1999 | 4   | 216 | 0   | 184 | 0   | 118 | 0  | 30 | 0  | 17 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 0 | 4   | 570 |
| 2000 | 5   | 221 | 3   | 187 | 0   | 118 | 0  | 30 | 0  | 17 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 0 | 8   | 578 |
| 2001 | 2   | 223 | 0   | 187 | 0   | 118 | 0  | 30 | 0  | 17 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2   | 580 |
| 2002 | 4   | 227 | 0   | 187 | 0   | 118 | 0  | 30 | 1  | 18 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 0 | 5   | 585 |
| 2003 | 1   | 228 | 0   | 187 | 0   | 118 | 0  | 30 | 0  | 18 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1   | 586 |
| 2004 | 1   | 229 | 1   | 188 | 0   | 118 | 0  | 30 | 0  | 18 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2   | 588 |
| 2005 | 0   | 229 | 0   | 188 | 0   | 118 | 0  | 30 | 0  | 18 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0   | 588 |
| 2006 | 2   | 231 | 0   | 188 | 0   | 118 | 0  | 30 | 1  | 19 | 0 | 3 | 0 | 2 | 2 | 2 | 5   | 593 |
| 2007 | 0   | 231 | 0   | 188 | 0   | 118 | 0  | 30 | 0  | 19 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0   | 593 |
| 2008 | 0   | 231 | 0   | 188 | 0   | 118 | 0  | 30 | 0  | 19 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0   | 593 |
| 2009 | 0   | 231 | 0   | 188 | 0   | 118 | 0  | 30 | 0  | 19 | 0 | 3 | 0 | 2 | 1 | 3 | 1   | 594 |
| 2010 | 1   | 232 | 0   | 188 | 0   | 118 | 0  | 30 | 0  | 19 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 3 | 1   | 595 |
| 2011 | 2   | 234 | 0   | 188 | 0   | 118 | 0  | 30 | 0  | 19 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 3 | 2   | 597 |
| 2012 | 5   | 239 | 0   | 188 | 0   | 118 | 0  | 30 | 0  | 19 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 3 | 5   | 602 |
| 2013 | 3   | 242 | 0   | 188 | 0   | 118 | 0  | 30 | 0  | 19 | 0 | 3 | 0 | 2 | 1 | 4 | 4   | 606 |
| 2014 | 1   | 243 | 0   | 188 | 0   | 118 | 0  | 30 | 0  | 19 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 4 | 1   | 607 |
| 2015 | 0   | 243 | 0   | 188 | 0   | 118 | 0  | 30 | 0  | 19 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 4 | 0   | 607 |
| 2016 | 0   | 243 | 0   | 188 | 0   | 118 | 0  | 30 | 0  | 19 | 0 | 3 | 0 | 2 | 2 | 6 | 2   | 609 |
| 2017 | 0   | 243 | 0   | 188 | 0   | 118 | 0  | 30 | 0  | 19 | 0 | 3 | 0 | 2 | 1 | 7 | 1   | 610 |
| 2018 | 1   | 244 | 0   | 188 | 0   | 118 | 0  | 30 | 0  | 19 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 7 | 1   | 611 |
| 2019 | 1   | 245 | 0   | 188 | 0   | 118 | 0  | 30 | 0  | 19 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 7 | 1   | 612 |
| 2020 | 0   | 245 | 0   | 188 | 0   | 118 | 0  | 30 | 0  | 19 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 7 | 0   | 612 |
| 2021 | 1   | 246 | 0   | 188 | 0   | 118 | 0  | 30 | 0  | 19 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 7 | 1   | 613 |
| 2022 | 1   | 247 | 0   | 188 | 0   | 118 | 0  | 30 | 0  | 19 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 7 | 1   | 614 |
| 2023 | 0   | 247 | 0   | 188 | 0   | 118 | 0  | 30 | 0  | 19 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 7 | 0   | 614 |
| 2024 | 1   | 248 | 0   | 188 | 0   | 118 | 0  | 30 | 0  | 19 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 7 | 0   | 615 |
| 計    | 248 |     | 188 |     | 118 |     | 30 |    | 19 |    | 3 |   | 2 |   | 7 |   | 615 |     |

(注) ①ロシアの通算回数には、旧ソ連の 181 回を含みます。

②米国に対する抗議には、核実験の予告に対する 1 回（昭和 59 年（1984 年）5 月 31 日分）、臨  
界前核実験実施表明に対する 1 回（平成 9 年（1997 年）4 月 10 日分）及び臨界前核実験実施予  
告に対する 5 回（平成 9 年 6 月 28 日、平成 9 年 8 月 28 日、平成 10 年（1998 年）3 月 6 日、  
平成 10 年 9 月 4 日、平成 11 年（1999 年）9 月 29 日分）を含みます。

③フランスに対する抗議には、核実験の再開表明に対する 1 回（平成 7 年（1995 年）6 月 15 日  
分）を含みます。

④北朝鮮に対する抗議には、核実験の予告に対する 1 回（平成 18 年（2006 年）10 月 5 日分）  
を含みます。

⑤平成 18 年のイギリスの臨界前核実験は、米国と共同で行われました。